

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013001	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育 C 棟35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2M1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	授業外ではインプットを重視したリスニングを行い、授業中にはアウトプットを重視した活動を取り入れる。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でプレゼンテーションを行い、相手に正確な情報を伝えられるようになること。 ・英語のプレゼンテーションで必要となる表現を身につけること。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>反転授業を取り入れた授業を行う。</p> <p>授業で扱う内容は授業前に学習し、内容理解をしておく。授業中は、その内容を発展させた活動を取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら英語の運用能力の養成を図ります。</p>		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	3-Step CALL System (e-learning)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト : 15% ・期末試験 : 15% ・提出物、グループワークの成果物 : 30% (自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等) ・G-TELP : 20% ・e-learning : 20% (PowerWords 10% : 単語の教材のレベルを1上げること 3-Step CALL System 10% : 2回のUNITテスト) 		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
学生へのメッセージ/Message for students	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう！！		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 教材の説明、成績についての説明 グループ作り アンケートの実施		
第2回	英語の学習方法について考える プリント教材		
第3回	「モノ」について考える プリント教材		
第4回	「モノ」について考える プリント教材		
第5回	「モノ」について考える プリント教材		
第6回	3-STEP小テスト1回目 発表準備		
第7回	発表		
第8回	発表の振り返りと他グループの評価		

第9回	学生生活について考える プリント教材
第10回	学生生活について考える プリント教材
第11回	3-STEP小テスト 2回目 学生生活について考える プリント教材
第12回	発表準備
第13回	G-TELP
第14回	発表
第15回	発表の振り返りと他グループの評価 まとめ
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013002	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟42		
対象学生(クラス等) / Object Student	2M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜 2 限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は、英語の表現形式に親しみ、使い、練習しながら、英語的な思考・表現の理解を深め、読む、書く、聞く、話すというコミュニケーション技能を統合して高めることに重点をおきます。		
授業到達目標/Goal	コミュニケーション能力を習得するために、英語の論理で成り立った、基礎的な情報伝達パターンの理解を深め、相手の意見を把握し、自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション技能を習得し、英語学習への関心と自信をもつことを目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	短い練習問題からはじめ、授業の進度に応じてニュース等の具体例の検討を通して、グループワークや発表を行います。また、必要に応じて文法や語句の説明を行います。		
授業内容/Class outline/Con	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観し、英語の表現形式を確認しながら授業を進めます。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることもあります。		
キーワード/Key word	コミュニケーション能力、クリティカルシンキング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Critical Thinking Language Skills for Clear Communication 朝日出版社 1700円 英語の辞書 必要に応じてハンドアウトを適宜配布。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G - T E L P (2 0 %) E - L e a r n i n g (2 0 %)、授業活動・課題への積極的参加 (2 0 %)、期末試験 (4 0 %)		
受講要件(履修条件)/Requirements	基本的に授業には毎回遅れないように出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で1回の欠席とカウントしますので注意してください。最初の授業は、この授業の計画を説明するので必ず出席してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	introduction		
第2回	unit1		
第3回	unit1		
第4回	unit2		
第5回	unit2		
第6回	unit3 3 S t e p小テスト		
第7回	unit3		
第8回	unit4		
第9回	unit4		
第10回	unit5		
第11回	unit5 3 S t e p小テスト		
第12回	unit6		
第13回	G-TELP試験		
第14回	unit6		
第15回	review		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013003	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟15		
対象学生(クラス等) / Object Student	2M3		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 10時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。		
授業到達目標/Goal	健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読む・聴く)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に、様々なリーディングの活動(スキミング、スキヤニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキヤニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、TOEIC形式の文法問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は英字新聞から選ばれてきたもので、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。 また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
キーワード/Key word	リーディング/リスニング/英文法/英作文/TOEIC/英字新聞/世界の出来事・環境・健康		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	The Picture of Health 「健康と食品ニュースで読む現代社会」(小笠原真司 他: 南雲堂) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	このクラスの成績評価は下記のとおりです。定期試験の成績を60%、共通テスト(G-TELPテスト)の結果を20%、課外学習のe-learning20%(3 Step CALL 10%、Power Words10%)を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の活動や態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席することを期待します。必ず予習を充分に行って臨みましょう。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。英単語の意味をあらかじめ調べて文章の大意をつかみ、テキストの問題も解いておきましょう。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月29日 導入・授業内容の説明		

第2回	10月 6日	Unit 1
第3回	10月13日	Unit 2
第4回	10月20日	Unit 3
第5回	10月27日	Unit 4
第6回	11月10日	Unit 5
	3Step 小テスト	第1回目
第7回	11月17日	Unit 6
第8回	11月24日	Unit 7
第9回	12月 1日	Unit 8
第10回	12月 8日	Unit 9
第11回	12月15日	Unit 10
第12回	12月22日	Unit 11
	3Step 小テスト	第2回目
第13回	1月 5日	G-TELPポスト・テストとまとめ
第14回	1月12日	Unit 12
第15回	1月19日	Unit 13
第16回	2月 2日	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013004	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M4)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2M5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
キーワード/Key word	医学英語、音変化、速読		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Medical English Clinic(センゲージラーニング)、及びプリント教材。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、2回のテストでもって評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、復習を行うこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を必ず復習すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月29日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	10月6日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1)		
第3回	10月13日 第3回 Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2)		
第4回	10月20日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3)		
第5回	10月27日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4) (10月30日 Power Words1回目締め切り)		
第6回	11月10日 第6回 3STEP小テスト、弱く発音される音、医者と患者の会話(5)		
第7回	11月17日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1) (11月20日 Power Words1回目締め切り)		

第8回	11月24日 第8回 聞こえなくなる音, 医者と患者の会話(5), 速読(2)
第9回	12月1日 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2), 医者と患者の会話(6)
第10回	12月8日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
第11回	12月15日 3STEP小テスト 第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4)
第12回	12月22日 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3)
第13回	1月5日 第13回 G-TELP
第14回	1月12日 第14回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5) 1月14日(Power Words3回目締め切り)
第15回	1月19日 第15回 医者と患者の会話(9), 速読(6), Retelling
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/19		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013005	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M5)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 有介		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 有介		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 有介		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2M5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英米の社会情勢、歴史、哲学、環境、科学、そして物語作品について書かれたTextを読み、英語の言語表現を学ぶ。ビジネス英語や時事英語とは違う人間味あふれた英語により英語という言語を身近に感じてほしい。同時に、Grammarを確認しながら、4技能(Listening, Speaking, Reading, Writing)も重視したい。		
授業到達目標/Goal	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで発音の向上を目指し、英語による表現力を豊かにしたい。 TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業方法(学習指導法) / Method	語彙の確認、リスニングによる音声把握、音読による発音練習、英文の読解力と表現力を養う。		
授業内容/Class outline/Con	毎回1つずつChapterを進む。Reading A.Exercises B. Grammar Focus & Practice C.Further Studyの流れで進む。3回に1回の割合で小テスト(単語テストを含む)を行う。		
キーワード/Key word	Listening/Speaking/Reading/Writing/Vocabulary		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading and Think: 12 Inspiring Message(Michiko Iwanaga/Atsuko Uemura/Sumiko Yoshida/Minoru Yoshida-Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間試験30%、定期試験30%、G-TELPテスト20%、課外学習のe-learning20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%)		
学生へのメッセージ/Message for students	英語運用能力を確実にするために、予習・復習の時間をきちんと設定しましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation & Introduction		
第2回	Chapter 1 : Severn Cullis-Suzuki's Address to the Plenary Session at the Earth Summit 「12才の少女が環境サミットで語った伝説的スピーチ」 A. Exercises B. Grammar Focus: 文型 C. Further Study		
第3回	Chapter 2: Free the Children 「児童強制労働廃止に立ち上がった少年」 by Craig Keilburger A. Exercises B. Grammar Focus: 過去完了形(had + 過去分詞) C. Further Study		
第4回	Chapter 3: The Legacy of Landmines 「地雷問題の現状、ユニセフの報告」 A. Exercises B. Grammar Focus: 比較の用法 C. Further Study		

第5回	Chapter 4: President Kennedy's Inaugural Address 「ケネディー大統領就任演説」 A. Exercises B. Grammar Focus: 使役 C. Further Study
第6回	Chapter 5: Albert Einstein: VOA Special English Science Report 「科学を変えた人アインシュタイン博士」 A. Exercises B. Grammar Focus: 不定詞と動名詞 C. Further Study 3stepCALLSystem 1 回目
第7回	Chapter 6: Dr. Wangari Maathai's Nobel Peace Prize Acceptance Speech 「ワンガリ・マータイさん、ノーベル平和賞受賞演説」 A. Exercises B. Grammar Focus: 関係詞の制限用法と非制限用法 C. Further Study
第8回	中間のまとめ（筆記試験を含む）
第9回	Chapter 7: Many Winters 「今日は死ぬのもってこいの日」 by Nancy Wood A. Exercises B. Grammar Focus: 目的、結果の接続詞、so that とso ~ that... C. Further Study
第10回	Chapter 8: Condensed Philosophy 「5人の哲学者の言葉 - ソクラテス、ホブス、デカルト、ニーチェ、カミュ」 A. Exercises B. Grammar Focus: 分詞構文 C. Further Study
第11回	Chapter 9: COSMOS 「コスモス わたしたちは星の子」 by Carl Sagan A. Exercises B. Grammar Focus: 前置詞 + 関係代名詞 C. Further Study 3stepCALLSystem 2 回目
第12回	Chapter 10: MOMO 「モモ、時間の意味を求めて」 by Michael Ende A. Exercises B. Grammar Focus: 譲歩を表す副詞節を導く複合関係詞 C. Further Study
第13回	G-TELP の実施
第14回	Chapter 11: The Little Prince 「星の王子さま、本当に大切なものを求めて」 by Antoinette Saint-Exupéry A. Exercises B. Grammar Focus: 倒置 C. Further Study
第15回	Chapter 12: Peter Pan 「ピーターパン、永遠の子供と出逢って」 by James Barrie A. Exercises B. Grammar Focus: 仮定法 C. Further Study
第16回	後半のまとめ（定期試験を含む）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/19		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013006	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川島 浩勝		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	川島 浩勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	川島 浩勝		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育 B棟15		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2M6)		
担当教員研究室/Laboratory	長崎外国語大学 3階334研究室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	「総合英語II」における学習成果を基に、英語のリスニングとリーディングにおけるバランスのとれた情報処理能力を身につける。		
授業到達目標/Goal	本授業の到達目標は、1) 様々なジャンルの口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2) 語彙力のアップ、3) リスニングのスピードでより難しい文の処理・理解(リーディング)ができるようになる、である。		
授業方法(学習指導法)/Method	様々なタスクを用い、リスニングとリーディングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己の英語力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングとリーディングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。なお、シラバスの細部は状況に応じて変更することがある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	多聴、多読、速読、精読、語彙、文、談話		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に、G-TLP 20%・E-Learning 20%・レポート15%・小テスト&提出物15%・期末試験30%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習の意義を再度考え、課題に意欲的に取り組んで下さい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業方針の説明・英語力診断テスト		
第2回	多聴プログラム1(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング1		
第3回	多聴プログラム2(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング2		
第4回	多聴プログラム3(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング3		
第5回	多聴プログラム4(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング4		
第6回	多聴プログラム5(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング5, 3step 小テスト		
第7回	多聴プログラム6(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング6		

第8回	これまでの授業のまとめ
第9回	速読/精読プログラム1(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング1
第10回	速読/精読プログラム2(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング2
第11回	速読/精読プログラム3(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング3 3step 小テスト
第12回	速読/精読プログラム4(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング4
第13回	G-TELP
第14回	速読/精読プログラム5(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング5
第15回	速読/精読プログラム6(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング6
第16回	学期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013007	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2K(英1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2K(英1))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月2 水3 木4		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化もいたします。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある60のKey Sentenceが書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が、スラスラ言えるようにします。またe-learning教材パワーワーズとリスニング教材3 Stepの指定した範囲や時間をクリアしてもらいます。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。指定された英文テキストは、大意を取る練習をします。また細かな部分の読解は、テスト形式のプリントを解きながら、行ないます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してこることも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。さらに、e-learning 教材、パワーワーズと3 Step CALLも課し学力の向上をはかるとともに、評価にも加えます。		
授業内容/Class outline/Con	<p>e-learning 教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自の小テストを行います。</p> <p>授業は教科書を用いてリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。このテキストを用いて、速読練習をし、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。テキストの詳細の部分の読解は、テスト形式のプリントを用いて、効率的に行います。</p> <p>またe-learning 教材パワーワーズや3 Step CALLの教材を授業中の一部を利用して行うとともに、残りは授業外の学習として、指定するペースで各自学習してもらいます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>環境科学部総合英語IIIは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けは前もって、掲示にて発表します。</p> <p>16回 定期試験</p>		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,900円		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、定期試験50%、授業中の発表10%、G-TELP 20%、e-learning 20%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		
授業計画詳細			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) 3 Step CALLの教材 (New York Live)Unit1-5
第2回	Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) e-learning Power Words Level 5 3 Step CALLの教材(New York Live) Unit6-10
第3回	Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) e-learning Power Words Level 5 3 Step CALLの教材(New York Live)Power Words テスト
第4回	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit11-15 3 Step CALLの教材(New York Live)
第5回	Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit16-20 3 Step 小テスト1回目
第6回	Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) e-learning Power Words Level 5 3 Step CALLの教材(New York Live)Power Words テスト
第7回	Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) e-learning Power Words Level 5 Unit21-25 3 Step CALLの教材(New York Live)
第8回	Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) e-learning Power Words Level 5 Unit25-30 3 Step CALLの教材(New York Live)
第9回	Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy e-learning Power Words Level 5 3 Step CALLの教材(New York Live)Power Words テスト
第10回	Unit10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit31-35 3 Step CALLの教材(New York Live)
第11回	Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit36-40 3 Step 小テスト2回目
第12回	Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) e-learning Power Words Level 5 3 Step CALLの教材(New York Live)Power Words テスト
第13回	G-TELP テスト
第14回	まとめUnit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 e-learning Power Words Level 5 Unit41-50 3 Step CALLの教材(New York Live)
第15回	Unit 14. Growth 1861-1865 Power Words テスト 3 Step CALLの教材
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013008	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2K(英2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	2K(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 12時 ~ 12時45分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、平和、経済、環境、貧困など、国際社会にまつわるトピックを取り上げ、国際情勢についての理解を深めていきます。テキストを通し、リーディング力、及び、国際問題で頻出する語の語彙力養成を行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がつかめるようにします。また、授業で扱った内容に対して、自分の意見を伝えられるようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。データ、グラフ、写真等を通して、何が問われているのか、リーディング以外の部分からも多角的に内容を理解する力をつけていきます。		
授業内容/Class outline/Con	まず、リスニング・写真などで何が話題になっているか感じ取ってもらう。続いて、テキストの解釈を通し、何が話題になっているか、正確に理解する。最後に各トピックに対する自身の考えを伝える訓練をします。		
キーワード/Key word	Peace and Security, Human rights, Health, Poverty		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	From the UN News Centre (三修社) ¥1,800 + 税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP20%、 e-learning20%、 授業中の発表を含む定期試験60%		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は個別指導を行う。		
備考(URL)/Remarks(URL)	http://www.unic.or.jp/news_press/world_and_un/		
学生へのメッセージ/Message for students	ニュースを見る際、音声は英語音声に切り替えたり、字幕設定にすることで、語彙力、リスニング力を強化することができます。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction 教科書販売 国連ニュースについて		
第2回	Unit 1 (1): Security Council, senior UN officials say conflict parties must respect, protect civilians		
第3回	Unit 1 (2): New maps shines light on Tokyo air raid horrors: Scholars record wartime history politicians would rather forget		
第4回	Unit 2 (1): Illicit financial outflows from Africa crippling continent's development - UN		
第5回	3 step小テスト1回目 Unit 2 (2): Britain to target multinationals evading tax		
第6回	Unit 3 (1): Philippines: UN humanitarian chief urges donors to increase aid for typhoon recovery		
第7回	Unit 3 (2): North aid contingent on abductees		
第8回	Unit 4 (1): Former New York Mayor Bloomberg named Ban's envoy for cities and climate change		
第9回	Unit 4 (2): Tokyo cuts CO2 emissions but hoards credits		
第10回	Unit 5 (1): DPR Korea human rights report elicits concern from senior UN officials		

第11回	3 step小テスト2回目 Unit5 (2):Malala's fight for girls' education
第12回	Unit6 (1):Launching Scientific advisory board, Ban urges bridging gap between science, policy
第13回	G-TELP
第14回	Unit6 (2):Tepco tech chief disputes Abe's "under control" assertion
第15回	Unit7 (1):Ban pledges UN commitment to advancing gender equality, women's empowerment
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013009	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2K(英3))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 有介		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 有介		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 有介		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2K3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英米の映画作品について書かれたTextを読み、時代、社会、地域性、食文化、恋愛観を英語という言語表現を通じて学ぶ。ビジネス英語や時事英語とは違う人間味あふれた英語により英語という言葉をも身近に感じてほしい。同時に、Grammarを確認しながら、4技能(Listening, Speaking, Reading, Writing)も重視したい。		
授業到達目標/Goal	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで発音の向上を目指し、英語による表現力を豊かにしたい。 TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業方法(学習指導法) / Method	語彙の確認、リスニングによる音声把握、音読による発音練習、英文の読解力と表現力を養う。		
授業内容/Class outline/Con	毎回1つずつUnitを進む。解読のための文法・構文ノート Comprehension Questions Listening Comprehension Exercise English Composition の流れで進む。3回に1回の割合で小テスト(単語テストを含む)を行う。		
キーワード/Key word	Listening/Speaking/Reading/Writing/Vocabulary		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	A Flavor of English Cinema and Cuisine (Fiona Wall Minami/Maho Matsui/ Fujioko Motoyama-Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間試験30%、定期試験30%、G-TELPテスト20%、課外学習のe-learning20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%)		
学生へのメッセージ/Message for students	英語運用能力を確実にするために、予習・復習の時間をきちんと設定しましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation & Introduction		
第2回	Chapter 1: Kramer vs. Kramer (Daddy's French Toast)		
第3回	Chapter 2: The Devil Wears Prada (New Yorker's Street Food)		
第4回	Chapter 3: Super Size Me (Fast Food and Obesity)		
第5回	Chapter 4: Kamome Shokudo (Japanese Cuisine in Finland) 3stepCALLSystem 1回目		
第6回	Chapter 5: The Road Home (A Lunchbox Filled with Love)		
第7回	Chapter 6: Notting Hill (The Last Brownie)		
第8回	中間のまとめ(筆記試験を含む)		
第9回	Chapter 7: No Reservations (A Recipe for Happiness)		
第10回	Chapter 8: Dear Frankie (Fish & Chips with Daddy)		
第11回	Chapter 9: Seabiscuit (Hard to Bite, Hard to Ride) 3stepCALLSystem 2回目		
第12回	Chapter 10: Charlie and the Chocolate Factory (The Sweetest Treat)		
第13回	G-TELP の実施		
第14回	Chapter 11: Everybody's Fine (Coming Together for Christmas Turkey)		
第15回	Chapter 12: The Witch of the West Is Dead (Making Strawberry jam with Grandma)		
第16回	後半のまとめ(定期試験を含む)		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013010	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲田 俊明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲田 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	稲田 俊明		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[教育]本館2F第22講義室		
対象学生(クラス等) / Object Student	2L(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜2限(事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の読解力と日本語・英語による要約する能力を養う。 課題について英語で論述する力を養う。 英文のリスニングの能力を養う。		
授業到達目標/Goal	英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。		
授業方法(学習指導法)/Method	指定した教材により、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 毎週、語彙テストを行い、隔週、課題の提出を求める。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材は授業で配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP 20% 指定する e-learning 教材 20% 授業中の課題 10%、 期末テスト 50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	同クラスの履修経験のないもの		
学生へのメッセージ/Message for students	事前に、教材と指定された課題を十分に学修しておくこと。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	COURSE OUTLINE (導入): 教材配布		
第2回	英文速読教材(1)		
第3回	英文速読教材(2)		
第4回	Listening Comprehension Quiz (第1回)		
第5回	英文要約教材(1)		
第6回	英文要約教材(2)		
第7回	3-STEP 小テスト(1) Listening Comprehension Quiz (第2回)		
第8回	英語要約課題(3)		
第9回	英語要約課題(4)		
第10回	Listening Comprehension Quiz (第3回)		
第11回	英文交渉メールの基礎と練習		
第12回	3-STEP 小テスト(2) 英語課題作文練習(1)		
第13回	英語課題作文練習(2)		
第14回	G-TELP 統一試験		

第15回	英語プレゼンテーション
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013011	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	隈上 麻衣		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	隈上 麻衣		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	隈上 麻衣		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室		
対象学生(クラス等) / Object Student	2L2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mkumagami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター(環境科学部1階)114		
担当教員TEL/Tel	095-819-2172		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜3限(メールでも受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業では、下記のテキストを使用し、英文読解・聞き取り・作文を中心に学習を進める。多岐にわたるトピックに関して、簡潔にまとめ、説明・議論するために必要な語彙力や論理的思考力を養成し、英語を運用するために必要な基礎力を向上させる。		
授業到達目標/Goal	与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回小テストを実施する。授業で扱うUnitのニュースの聞き取りまたは速読をし、日本語で要約した後、精読をする。必要に応じて、重要な文法項目や語彙を用いた作文を書く。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	TBA 初回授業にて販売を行います。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Attendance & Participation (10%), Quiz (20%), Midterm Exam (15%), Final Exam (15%), G-TELP (20%), e-learning (20%: 3 Step CALL and PowerWords 10% each)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation, Self-introduction		
第2回	Unit 1		
第3回	Unit 2		
第4回	Unit 3		
第5回	Unit 4		
第6回	Midterm		
第7回	3Step 第1回小テスト, Unit 5		
第8回	Unit 6		
第9回	Unit 7		
第10回	Unit 8		
第11回	Unit 9		
第12回	3Step 第2回小テスト, Unit 10		
第13回	Unit 11		
第14回	G-TELP		
第15回	Unit 12		
第16回	Final Exam		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013012	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英3))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	2L(英3)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	人間の資質に関して書かれた優れた英文を熟読し、青年期にある学生の皆さんがこれから生きていくうえで大切な知恵や人生の指針について学ぶ。教養を高め、自己を磨く一助とする。また、ここで学んだ知識を将来の生徒指導に役立てられるよう、身に付ける。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来教員を目指す学生の皆さんには重要かつ必要不可欠です。英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。英文を「英語で」理解できるようになる。		
授業到達目標/Goal	人間の優れた資質について関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	予習を充分に行ってきた上で、英文の内容についての意見を発表する。英文を精読し、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握ができるようになる。テキストの練習問題により、説明と指導を行いながら、語彙と文法事項の定着を図り、また、リスニングの能力を養う。テキストのテーマについて、意見を述べ、或いは討論し、自らの考えを深める。テーマについては、様々な資料等を用いて紹介する。世界の様々な人物や出来事に関する関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
授業内容/Class outline/Con	教材の内容は、読みやすく興味深いものである。毎回、十分な予習を前提とした上で、テーマについての考察を行う。 テキストの英文を精読や速読を行い、正確な理解を図るべく、文章の内容を確認していきながら、語句や文法事項、及び英文理解の方法や技術を指導する。本文の内容理解をチェックするための設問を解き、その中で語彙や文法事項、またリスニングの指導と解説をする。 なお、毎回の授業でReview Testを課します。 あらかじめ英文を熟読し、音声を聴き、入念な準備をして臨んでください。 また、教育学部で学ぶにあたり、書物を多く読み、人格を高め深い教養を身に付けておきましょう。 今回のテーマが、自らの成長と将来の生徒指導に必ずや役立つことと思います。		
キーワード/Key word	リーディング・スキルの向上 /人間の資質 / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	The Secret of Success 『プラス思考で生きる：成功の秘訣』 (小林純子：朝日出版社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。 音声教材は、ホームページサイトよりダウンロードしてください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験の成績を60%、共通テスト(G-TELPテスト)の結果を20%、課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、Power Words 10%)を基準とします。 また、受講中の活動や態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。		

授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	10月 1日 導入・授業内容の説明
第2回	10月 8日 Unit 1
第3回	10月15日 Unit 2
第4回	10月22日 Unit 3
第5回	10月29日 Unit 4
第6回	11月 5日 Unit 5
第7回	11月12日 Unit 6 3 Step 小テスト 第1回目
第8回	11月19日 Unit 6・7
第9回	11月26日 Unit 8
第10回	12月 3日 Unit 10
第11回	12月10日 Unit 11
第12回	12月17日 Unit 12 3 Step 小テスト 第2回目
第13回	12月24日 Unit 12・13
第14回	1月 7日 G-TELPポスト・テストとまとめ
第15回	1月14日 Unit 14
第16回	2月 4日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013013	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英4))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	2L4		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の様々な文化や分野における、個性豊かな人々によって書かれた英文を熟読し、人類の優れた知恵や思想を学ぶ。科学技術の急激な発達の中にある今こそ、改めて人類の叡智に触れることにより、教養を高め、自己を磨く一助とする。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来教員を目指す学生の皆さんには重要且つ必要不可欠です。英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。		
授業到達目標/Goal	世界の様々な人物や出来事に関する関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	予習を充分に行ってきた上で、英文の内容についての意見を発表する。英文を精読し、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握ができるようになる。テキストの練習問題により、説明と指導を行いながら、語彙と文法事項の定着を図り、また、リスニングの能力を養う。テキストのテーマについて、意見を述べ、或いは討論し、自らの考えを深める。テーマについては、様々な資料等を用いて紹介する。世界の様々な人物や出来事に関する関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
授業内容/Class outline/Con	テキストの題材は文系と理系を問わず多岐にわたり、読みやすく興味深いものである。毎回、十分な予習を前提とした上で、テーマについての意見を発表する。或いは意見を交換し合う。資料を示して、それらの考察を行う。 テキストの英文を精読や速読を行い、正確な理解を図るべく、文章の内容を確認していきながら、語句や文法事項、及び英文理解の方法や技術を指導する。本文の内容理解をチェックするための設問を解き、その中で語彙や文法事項、またリスニングの指導と解説をする。 あらかじめ英文を熟読し、音声を聴き、入念な準備をして臨んでください。 また、教育学部で学ぶにあたり、書物を多く読み、人格を高め深い教養を身に付けておきましょう。		
キーワード/Key word	リーディング・スキルの向上 / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Comprehensive English through Select Unforgettable Writings 『一度は読んでおきたい名文から学ぶ総合英語』(野村忠央他: 朝日出版社/DTP出版・発行) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。 音声教材は、ホームページサイトよりダウンロードしてください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験の成績を60%、共通テスト(G-TELPテスト)の結果を20%、課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、Power Words 10%)を基準とします。 また、受講中の活動や態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	10月 1日	導入・授業内容の説明
第2回	10月 8日	2. 行動の規範
第3回	10月15日	5. もし3日間だけ目が見えたら
第4回	10月22日	8. 読書論
第5回	10月29日	9. 独立独行
第6回	11月 5日	10. 日本国憲法前文
第7回	11月12日	14. スポーツと競争心 3 Step 小テスト 第1回目
第8回	11月19日	22. 偉大なる発見
第9回	11月26日	29. フランクリン自伝
第10回	12月 3日	31. 雄弁家としてのアブラハム・リンカーン
第11回	12月10日	18. 孤独
第12回	12月17日	16. 二十年後 3 Step 小テスト 第2回目
第13回	12月24日	第8部 4. 選ばなかった道
第14回	1月 7日	G-TELPポスト・テストとまとめ
第15回	1月14日	第8部 1. 青年よ、大志を抱け 2. 青春
第16回	2月 4日	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/14		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013014	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英5))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 敦子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 敦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 敦子		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	2L(英5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095 - 846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、英文の読解力を強化することを目標とする。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。さらに本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景に触れながら生きた英語を味わっていく。本年度はシャーロック・ホームズ・シリーズの代表的な短編2編をテキストとして取り上げる。		
授業到達目標/Goal	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文をきちんと把握しながら、長文の読解力を強化する。CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、日本語とは異なる英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回和訳とリスニングを中心にテキストを読み進める。精読と速読を組み合わせることで、英文の読解力の向上を図る。あらかじめ指定された担当者はテキストを音読し、和訳を発表する。最後に本文の要約とリスニングスクリプトを完成させる。		
授業内容/Class outline/Con	毎回テキストに沿って、和訳とリスニングを中心に本文を読み進める。その後、想像力を働かせながら要約とリスニングスクリプトを完成させることで、英語として本文を把握する。受講者は前もってその箇所を予習しておく。		
キーワード/Key word	リーディング、リスニング、英文法、語彙、構文把握、		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Mystery Tour with Sherlock Holmes (センゲージ ラーニング)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的な取り組み状況(発表) 10%、 定期試験 50%、 G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回リスニング、和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
学生へのメッセージ/Message for students	シャーロックホームズの短編の中でも特に人気のある物語を取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語の学習への動機を高めてくれるでしょう。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション(授業の進め方、シャーロック・ホームズ・シリーズとその英語について)		
第2回	Unit1: The Red-Headed League, An Easy Job		
第3回	Unit2: The Red-Headed League, Mr. Wilson Is Put to a Test		
第4回	Unit3: The Red-Headed League, Job Suddenly Ends		
第5回	Unit4: The Red-Headed League, Holmes Gathers Information		
第6回	Unit5: The Red-Headed League, Setting the Trap		
第7回	3step小テスト Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan		
第8回	Unit7: The Adventure of the Copper Beeches, A Job with Strange Requirements		

第9回	Unit8: The Adventure of the Copper Beeches, The Work Begins
第10回	Unit9: The Adventure of the Copper Beeches, A Strange Observer
第11回	Unit 10: The Adventure of the Copper Beeches, Miss Hunter Looks Around
第12回	3step小テスト Unit 11: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Holmes Has an Idea
第13回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate
第14回	G-TELP テスト
第15回	授業の総括と復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013015	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英6))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤内 則光		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤内 則光		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤内 則光		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2L6 習熟度別)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (Ext 335)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、基礎的な読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行い、テキストと音声の調和のとれた処理能力の獲得によって、受講生の英語力を向上させる。 また、この授業ではプロの教師の心構えも身につけていただきたい。		
授業到達目標/Goal	TOEIC450程度の英語リスニング運用能力の獲得を目的とする。単語、文法理解のためのリスニング能力の獲得は、他の技能の熟達に寄与する。		
授業方法(学習指導法)/Method	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。		
授業内容/Class outline/Con	教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。 授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。 主教材は、英語の基本的なリスニング能力開発のための訓練形式。授業は難しいので、常に復習を怠らないように。また、最終試験の評価割合が少ないので、時間外の学習を怠らないように。 定期試験 16回目開講時		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	主教材: Power Up Your English with CNN News(朝日出版社) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	全て主教材より 定期試験40%(単語理解10%、内容理解30%) 平常点20%(発音実技の録音と副教材解答結果提出) G-TELPスコア換算20% 課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	CDを聞いて、耳を慣らしておく程度の事前訓練をしてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10/1 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認		
第2回	10/8 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1		
第3回	10/15 副教材 Unit 3、主教材 教科書 前回のつづき		
第4回	10/22 副教材 Unit 4、主教材 教科書 前回のつづき		
第5回	10/29 副教材 Unit 5、主教材 教科書 前回のつづき		
第6回	11/5 副教材 Unit 6、主教材 教科書 前回のつづき		
第7回	11/12 副教材 Unit 7、主教材 教科書 前回のつづき 3 Step Call 小テスト1回目		
第8回	11/19 副教材 Unit 8、主教材 教科書 前回のつづき		
第9回	11/26 副教材 Unit 9、主教材 教科書 前回のつづき		
第10回	12/3 副教材 Unit 11、主教材 教科書 前回のつづき		
第11回	12/10 副教材 Unit 12、主教材 教科書 前回のつづき		

第12回	12/17 副教材 Unit 13、主教材 教科書 前回のつづき 3-Step CALL 小テスト
第13回	12/24 副教材 Unit 14、主教材 教科書 前回のつづき
第14回	1/7 G-TELP試験とまとめ
第15回	1/14 副教材 Unit 21、主教材 教科書のまとめ
第16回	2/4 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013016	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 健太郎		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 健太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 健太郎		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。		
授業到達目標/Goal	TOEIC500点以上の英語力		
授業方法(学習指導法)/Method	英文雑誌English Plusを使用し、1回の授業で1エッセイ程度を読む。最後2回は英字新聞Japan Timesの記事を読む。内容についての英問英答で理解を確認し、読解のポイントをつかむ。これとは別にTOEIC語法・読解の練習問題を毎回し、語法の知識と語彙の強化を図る。テキストに基づいたディクテーション・テストをするほか、課外学習(3 Step CALLとPowerwords)も組み入れてリスニング力・語彙力も強化する。		
授業内容/Class outline/Con	英文の内容をしっかりと理解するリーディング力と英語を実際に使う運用能力の鍛錬のため、毎回英英辞典を使ったクイズ、課題についての英問英答をする。また音読・聞き取りの課題を出してリスニング力も強化する。さらに基本的な文法・語法の知識と実用場面での語彙を定着させるため、TOEIC対策テキストを数ページする。また3stepの学習成果を確認するために小テストを行う。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『English Plus』 Vol. 19 成美堂出版 David E. Bramley/中井弘一 『New Steps to Success in the TOEIC Test Grammar & Reading 550』 松柏社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(ディクテーションを含む)35%、中間テスト(ディクテーションを含む)10%、授業への参加度15%。G-TELP試験スコア20% 課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、Powerwords 10%)		
学生へのメッセージ/Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作等不真面目な態度は減点評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について)		
第2回	Domo Domo Paradise TOEIC対策テキストDrill 1, 2		
第3回	Into the Night Fog / Lost at Sea TOEIC対策テキスト Drill 3, 4		
第4回	The Novelist / Smuggler's Beach TOEIC対策テキスト Drill 5, 6, 7, 8		
第5回	Every Journey Begins with a Single Step TOEIC対策テキスト Drill 9, 10		
第6回	El Mexicanto TOEIC対策テキスト Drill 11, 12 3step小テスト		
第7回	The Dead Man's Clothes TOEIC対策テキスト Drill 13, 14		
第8回	中間テスト TOEIC対策テキスト Drill 15, 16		

第9回	The Wizard Woz TOEIC対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20
第10回	Brazil---Ready or Not? TOEIC対策テキスト Drill 21, 22
第11回	“ Latte Dads ” TOEIC対策テキスト Drill 23, 24
第12回	Past, Present and Future of Sakhal i TOEIC対策テキスト Drill 25, 26 3step小テスト
第13回	G-TELPテスト
第14回	Japan Times Article A TOEIC対策テキスト Drill 27, 28
第15回	Japan Times Article B TOEIC対策テキスト Drill 29, 30
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013017	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E(英2)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ハーバード大学教授によって書かれた、世界の有名企業に関する興味深い内容の英文を通して、経済に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、専門の経済学と関連付けて、考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Goal	世界の企業に対して関心を持ち、将来に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に様々なリーディングの活動(スキミング、スキミング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキミングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、リスニングと英作文の問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。英文は世界の有名企業を取り扱い、教科書は特色あるものである。資料を用いて、経済の問題を考える。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
キーワード/Key word	リーディング / リスニング / 英文法 / 英作文 / 世界経済		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Business Sense (Andrew E. Bennett著: 南雲堂) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	このクラスの成績評価は下記のとおりです。定期試験の成績を60%、共通テスト(G-TELPテスト)の結果を20%、課外学習のe-learning20%(3 Step CALL 10%、Power Words10%)を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。また、受講中の活動や態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件) / Requirements	授業には全回出席することを期待します。必ず予習をして臨みましょう。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかみ、テキストの問題も解いておきましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月10日 導入・授業内容の説明		
第2回	4月17日 Chapter 1		

第3回	4月24日	Chapter 2
第4回	5月1日	Chapter 3
第5回	5月8日	Chapter 4
第6回	5月15日	Chapter 5 3 Step小テスト 第1回目
第7回	5月22日	Chapter 6
第8回	5月29日	Chapter 7
第9回	6月5日	Chapter 8
第10回	6月12日	Chapter 9
第11回	6月19日	Chapter 10
第12回	6月26日	Chapter 11 3 Step小テスト 第2回目
第13回	7月3日	G-TELPポスト・テストとまとめ
第14回	7月10日	Chapter 12
第15回	7月17日	Chapter 13
第16回	7月31日	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013018	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英3))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟42		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E(英3)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日 12時 ~ 12時45分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	このクラスは、医療、政治、スポーツと幅広いジャンルの新聞記事を用いて、リーディング力、および専門に関する語彙力を行います。		
授業到達目標 / Goal	テキストの英文を、辞書なしでも大意がとれるようにします。テキストの中に登場する重要文法に関しては、応用文の作成ができるようにします。		
授業方法(学習指導法) / Method	演習方式で行います。リーディングに関して、速読を通して大意をとる訓練をします。		
授業内容 / Class outline / Con	まず、速読で解いた問題の確認をします。 つづいて、精読して問題の再確認をします。 テキストに登場した重要文法を用いた応用文の作成で、文法理解を図ります。		
キーワード / Key word	newspapers, headline, lead, body		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Meet the World English through Newspapers 2015 (成美堂) ¥2,000 + 税		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	G-TELP20%、 e-learning20%、 授業中の発表を含む定期試験60%		
受講要件(履修条件) / Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は個別指導を行う。		
学生へのメッセージ / Message for students	日頃からニュースを見ることで授業の理解が深まると思います。また、英語字幕、英語音声でテレビを見ることもリスニング力の向上につながります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction 教科書販売 新聞記事の構造について 速読について		
第2回	Silk Road added to World Heritage list		
第3回	U.K. court: Richard to be buried in Leicester		
第4回	Skeleton sheds light on 1st Americans		
第5回	Pope Francis hosts prayer summit		
第6回	3 Step小テスト1回目 U.S. to curb land mines, aiming to join global treaty		
第7回	Female-named hurricanes "deadlier"		
第8回	Subs make big impact right to the end		
第9回	"Virtual house calls" gaining interest in U.S.		
第10回	Bat maker to the stars announces retirement		
第11回	South Sudan faces famine crisis		
第12回	3 Step 小テスト2回目 Hacker helps FBI stop 300 cyberattacks		
第13回	G-TELP		

第14回	Hanyu reflects on March 2011 disaster after win
第15回	Daily life in Japan lures tourists
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013019	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英4))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E(英4)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ハーバード大学教授によって書かれた、世界の有名企業に関する興味深い内容の英文を通して、経済に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、専門の経済学と関連付けて、考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Goal	世界の企業に対して関心を持ち、将来に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に様々なリーディングの活動(スキミング、スキミング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキミングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、リスニングと英作文の問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。英文は世界の有名企業を取り扱い、教科書は特色あるものである。資料を用いて、経済の問題を考える。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
キーワード/Key word	リーディング / リスニング / 英文法 / 英作文 / 世界経済		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Business Sense (Andrew E. Bennett著: 南雲堂) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	このクラスの成績評価は下記のとおりです。定期試験の成績を60%、共通テスト(G-TELPテスト)の結果を20%、課外学習のe-learning20%(3 Step CALL 10%、Power Words10%)を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。また、受講中の活動や態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件) / Requirements	授業には全回出席することを期待します。必ず予習をして臨みましょう。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかみ、テキストの問題も解いておきましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月10日 導入・授業内容の説明		
第2回	4月17日 Chapter 1		

第3回	4月24日	Chapter 2
第4回	5月1日	Chapter 3
第5回	5月8日	Chapter 4
第6回	5月15日	Chapter 5 3 Step小テスト 第1回目
第7回	5月22日	Chapter 6
第8回	5月29日	Chapter 7
第9回	6月5日	Chapter 8
第10回	6月12日	Chapter 9
第11回	6月19日	Chapter 10
第12回	6月26日	Chapter 11 3 Step小テスト 第2回目
第13回	7月3日	G-TELPポスト・テストとまとめ
第14回	7月10日	Chapter 12
第15回	7月17日	Chapter 13
第16回	7月31日	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013020	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英5))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟42		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E(英5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 12時 ~ 12時45分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、情報・教育・環境・スポーツなど、幅広いニューストピックを通して、リスニング力やリーディング力の養成を行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がつかめるようにします。ニュース英語の構造・特徴を捉え、要約ができるようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。リーディングでは大意を取る練習をしながら速読の訓練をします。		
授業内容/Class outline/Con	まず、ニュースの出処の国について理解を深めます。 つづいて、ニュースのkey wordsの確認をします。 速読による英文解釈の確認と精読による再確認をします。		
キーワード/Key word	media news, headline, lead, body		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	15 Selected Units of English through the News Media (朝日出版社) ¥1,200 + 税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-Telp20%、 e-learning20%、 授業中の発表を含む定期試験60%		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は個別指導を行う。		
備考(URL)/Remarks(URL)	http://text.asahipress.com/free/english		
学生へのメッセージ/Message for students	普段からニュースを英語音声または英語字幕で見ることが4技能の向上に結びつくと思います。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction 教科書販売 ニュース英語の構造・特徴について 速読について		
第2回	In Taking Jobs, Women Take On a Saudi Taboo		
第3回	Fortune-seeking migrants turn to Mexico		
第4回	Japanese Team Dominates Competition to Create Generation of Rescue Robots		
第5回	A Borderline Where Women Bear the Weight		
第6回	3 Step 小テスト1回目 E-Cigarettes, by Other Names, Lure Young and Worry Experts		
第7回	NYC fans of Kyary Pamyu Pamyu share "zest for life"		
第8回	Pakistanis ambivalent about Malala		
第9回	Chinese schooling wins praise - but not from nation's parents or educators		
第10回	Ethnic strife unsettles a lawless frontier		
第11回	Learning to speak Brazinglish		
第12回	3 Step小テスト2回目 "How are you?" Don't ask!		
第13回	G-Telp		

第14回	New generation of innovators emerges in Japan
第15回	Striding toward a national image
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013021	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英6))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟44		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に取る、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、段落ごとの要点と段落間の関係を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度的大意が取れること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。日本語を介せずに英文が理解できること。基本的な英語を、聞いて理解できること。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式		
授業内容/Class outline/Content	<p>CENGAGE Learning 社の Reading In 3 をテキストに使い、毎回興味深い話題について読む。14回の授業の初めの4回は精読を中心に、次の2回は文章全体の構造に注目して速読の準備をし、その後の4回は速読を中心に、最後の4回はその2種類のスキルの両方をバランスよく組み合わせて使えるように演習を行う。</p> <p>授業の最初は、英作文、或いは英単語の小テストを行う。テスト範囲は、毎回指定する。その後、リーディングの演習をする。(学生は指示された範囲や内容を、音読を含め必ず家庭で予習して授業に参加すること。各文の意味を取る、或いは、各英単語の音を確認するだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切なので、音読を軽視しないこと。)音読する、必要な情報を抜き出す、大意を取る、文法を確認する、精読する、などを行う。テキストにある設問を適宜利用する。最後の数回はプリントを用いてより上級の読み物に挑戦する。</p>		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、パラグラフリーディング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading In 3: Practical Reading Course of English, Casy Malarcher, CENGAGE Learning, CD付, 1260円.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP 20%、課外学習のe-learning 20%(3 Step-CALL 10%、Power Words 10%)、定期試験45%、小テスト約10%、授業への参加等約5%。 課外学習の e-learning に関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。第一回目の授業の初めに教室で教科書を購入するので、代金を忘れずに。		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	<p>毎回小テストをします。これは前回の授業の復習になり、好評です。予習して授業に臨むことが原則です。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
授業計画詳細			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 Blogging
第2回	Unit 1 Blogging
第3回	Unit 2 Blockbuster Movies
第4回	Unit 3 The Tour de France
第5回	Unit 4 Left-Handedness
第6回	3step小テスト(15分程度) Unit 5 Jennifer Lopez
第7回	Unit 6 Body Language
第8回	Unit 7 Cosmetic Surgery
第9回	Unit 8 Speed Dating
第10回	Unit 9 Mystery Mansion
第11回	Unit 10 White Sands
第12回	3step小テスト(15分程度) プリント
第13回	G-TELP テスト
第14回	プリント
第15回	総復習
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013022	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(2T (英1))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月2 水3 木4		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化もいたします。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある60のKey Sentenceが書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が、スラスラ言えるようにします。またe-learning教材パワーワーズとリスニング教材3 Stepの指定した範囲や時間をクリアしてもらいます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。指定された英文テキストは、大意を取る練習をします。また細かな部分の読解は、テスト形式のプリントを解きながら、行ないます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してくることも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。さらに、e-learning 教材、パワーワーズと3 Step CALLも課し学力の向上をはかるとともに、評価にも加えます。		
授業内容/Class outline/Con	<p>e-learning 教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自の小テストを行います。</p> <p>授業は教科書を用いてリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。このテキストを用いて、速読練習をし、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。テキストの詳細の部分の読解は、テスト形式のプリントを用いて、効率的に行います。</p> <p>またe-learning 教材パワーワーズや3 Step CALLの教材を授業中の一部を利用して行うとともに、残りは授業外の学習として、指定するペースで各自学習してもらいます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>工学部総合英語IIIは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けは前もって、掲示にて発表します。</p> <p>16回 定期試験</p>		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書 (テキスト) : Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,900円		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、定期試験50%、授業中の発表10%、G-TELP 20%、e-learning 20%で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		
授業計画詳細			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) 3 Step CALLの教材 (New York Live)
第2回	Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) e-learning Power Words Level 5 Unit1-5 3 Step CALLの教材(New York Live)
第3回	Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit6-10 3 Step CALLの教材(New York Live)Power Words テスト
第4回	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit11-15 3 Step CALLの教材(New York Live)
第5回	Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit16-20 3 Step 小テスト1回目
第6回	Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit21-25 3 Step CALLの教材(New York Live)Power Words テスト
第7回	Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) e-learning Power Words Level 5 Unit26-30 3 Step CALLの教材(New York Live)
第8回	Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) e-learning Power Words Level 5 Unit31-34 3 Step CALLの教材(New York Live)
第9回	Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy e-learning Power Words Level 5 Unit35-38 3 Step CALLの教材(New York Live)Power Words テスト
第10回	Unit10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit39-42 3 Step CALLの教材(New York Live)
第11回	Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit43-45 3 Step 小テスト2回目
第12回	Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) e-learning Power Words Level 5 Unit46-48 3 Step CALLの教材(New York Live)Power Words テスト
第13回	G-TELP テスト
第14回	まとめUnit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 e-learning Power Words Level 5 Unit49-50 3 Step CALLの教材(New York Live)
第15回	Unit 14. Growth 1861-1865 Power Words テスト 3 Step CALLの教材
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013023	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	香川 実成		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	香川 実成		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	香川 実成		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	midvinter.jk@gmail.com		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	09043429702		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日12:00 ~ 12:30、及びEメールにて (midvinter.jk@gmail.com)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ボトムアップとトップダウンの両方のアプローチによって、英文情報を緻密に、及び効率的に理解できるようになることを目指します。		
授業到達目標 / Goal	基本的なアカデミック・ボキャブラリーを文脈に応じて適確に使えるようにする、 基本的なリーディング・ストラテジーを習得する、 英文構造の正しい理解に基づいて、文法的に正しい英文を書くことができる、 以上の3つを目標とします。		
授業方法 (学習指導法) / Method	毎回の予習と復習の確認作業 (小テストを含む) を通して、演習形式でおこないます。		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	アカデミック・ボキャブラリー スキャニング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Read Smart Plus (『楽しく読もう! 総合英語演習2』 (2015年、センゲージラーニング))		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	G-TELP : 20% E-Learning : 20% 定期試験 : 30% 予習/復習確認小テスト : 30%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	原則として全回出席し、すべての小テストを提出することを単位認定の要件とする。		
備考 (URL) / Remarks (URL)	http://cengage.jp/elt/JapaneseFourSkills/		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	April 6 授業の進め方と課題の内容 Unit 1: When in Rome		
第2回	April 13 Unit 2: This is Good!		
第3回	April 20 Unit 3: Abraham Lincoln's Dream		
第4回	April 27 Unit 4: Just a Magic Trick?		
第5回	May 11 Unit 5: Never the Twain Shall Meet? * 3step小テスト1回目		
第6回	May 18 Unit 6: The Lucky Silk Scarf		
第7回	May 25 Unit 7: A Way with Words		
第8回	June 1 Unit 8: What Planet Are You from?		

第9回	June 8 Unit 9: What Are You Waiting for?
第10回	Jun 15 Unit 10: Better Apart?
第11回	June 22 Unit 11: Cheaters Never Prosper * 3step小テスト2回目
第12回	June 29 Unit 12: Inside the World of Fear
第13回	July 6 G-TELP試験
第14回	July 13 Unit 13: Using Your Brain
第15回	July 27 Unit 14: Emotional Intelligence
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013024	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英3))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T英3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	非常勤講師室在中可 月・金 昼休み		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業到達目標 / Goal	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。また、先に来る情報収集の際に必要な論文の読み方もしっかりとした目標にすえていきます。		
授業方法(学習指導法) / Method	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業内容 / Class outline / Con	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanningや意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。Listeningにおいては、大学が提供している3stepやPowerWordsを日常の取り組みとします。		
キーワード / Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、読解力、先生離れへの助長		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Class Attendance and Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯の操作等はマイナス態度) G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%		
受講要件(履修条件) / Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。無断欠席回数が1/3以上でClass Attendance and Participationを0%と致します。		
学生へのメッセージ / Message for students	G-TELPテストに関する詳細は、担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4/6 第1回 Introduction		
第2回	4/13 第2回 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)		
第3回	4/20 第3回 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)		
第4回	4/27 第4回 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1) ~ 5/1 PowerWords 1回目締切り		
第5回	5/11 第5回 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2) 3step 小テスト		
第6回	5/18 第6回 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)		

第7回	5/25 第7回 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) ~ 5/29 PowerWords 2回目締切り
第8回	6/1 第8回 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)
第9回	6/8 第9回 Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)
第10回	6/15 第10回 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)
第11回	6/22 第11回 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2) 3step 小テスト
第12回	6/29 第12回 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3)
第13回	7/6 第13回 G-TELP ~ 7/10 PowerWords 3回目締切り
第14回	7/13 第14回 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Steam Factory Nagasaki 1856
第15回	7/27 第15回 Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Growth 1861-1865
第16回	8/3 第16回 Final Examination

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013025	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英4))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟15		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜1限		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	この授業は、英語の表現形式に親しみ、使い、練習しながら、英語的な思考・表現の理解を深め、読む、書く、聞く、話すというコミュニケーション技能を統合して高めることに重点をおきます。		
授業到達目標 / Goal	コミュニケーション能力を習得するために、英語の論理で成り立った、基礎的な情報伝達パターンの理解を深め、相手の意見を把握し、自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション技能を習得し、英語学習への関心と自信をもつことを目標とします。		
授業方法(学習指導法) / Method	短い練習問題からはじめ、授業の進度に応じてニュース等の具体例の検討を通して、グループワークや発表を行います。また、必要に応じて文法や語句の説明を行います		
授業内容 / Class outline / Con	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観した後、1回の授業で1Unitをカバーしていく予定です。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることがあります。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることもあります。		
キーワード / Key word	コミュニケーション能力、クリティカル・シンキング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Critical thinking: language skills for clear communication 朝日出版社 1700円 およびハンドアウトを適宜配布。 英語の辞書		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	G - T E L P (2 0 %)、E - L e a r n i n g (2 0 %)、授業活動・課題への積極的参加 (2 0 %)、期末試験 (4 0 %)		
受講要件(履修条件) / Requirements	基本的に授業には毎回遅れないよう出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で一回の欠席とカウントしますので注意してください。最初の授業は、授業計画を説明するので必ず出席して下さい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	introduction		
第2回	unit1		
第3回	unit1		
第4回	unit2		
第5回	unit2 3 S t e p小テスト		
第6回	unit3		
第7回	unit3		
第8回	unit4		
第9回	unit4		
第10回	unit5		
第11回	unit5 3 S t e p小テスト		
第12回	unit6		
第13回	G-TELP試験		
第14回	unit6		

第15回	review
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013026	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英5))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ローン 悦子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	ローン 悦子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	ローン 悦子		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育 C 棟36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T英5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業では、これまでに修得した英語の読む、書く、聞く、話す、の4技能の力を総合的に伸ばし、実践的な運用能力をさらに高めることを目標とします。特に、日本人学習者が苦手とするアウトプットの能力の向上を目指します。		
授業到達目標/Goal	<p>(1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できる。</p> <p>(2) 与えられた写真 (あるいは絵) を見て的確に英語で表現することができる。</p> <p>(3) やや簡易な会話を聞いて要約できる。</p> <p>(4) その会話の和訳を英訳できる。</p> <p>(5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができる。</p> <p>(6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容をある程度理解することができる。</p> <p>(7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習し、ネイティブにより近いに音読できる。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、毎レッスンLACSを使って小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthenticな教材(配布物)、洋画を使用し(DVD視聴)、Readers' theater (朗読劇)などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつながり方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めて行きます。</p> <p>(1) LACSによる小テスト</p> <p>(2) テキストを使用した演習 (あるいは Readers' theater 活動 録音 評価、あるいは、配布物による学習)</p> <p>(3) 3分間 (フリーorトピック) トーク 録音 評価</p> <p>(4) 洋画視聴 (5分程度)</p> <p>提出されたグループワーク、Readers' theater の録音は、添削評価して返却します。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>授業は、演習形式で行います (テキストは全6課からなっていますが、授業の進み具合で進度、内容設定を調節しながら進めていきます)。特に日本人が苦手とするアウトプットの能力に力を入れるために、受講生にはできる限り回答の機会を設け、ペアワーク、グループワークを通して「使える」表現の定着を図ります。スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、Readers' theaterなどの活動を通し、イントネーション、単語のつながり方 (リンキング) 母音の長音化などに焦点をあてて練習していきます。テキスト付属のオンラインワークブック、Self-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます (評価20%)。</p>		
キーワード/Key word	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 3 Student's Book A with Online Workbook』 Cambridge University Press - ISBN:9781107687271 を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験20%、G-TELP20%、授業中の発表及び積極的な姿勢、小テスト、グループワーク、Readers' theater 40%、課外学習のe-learning 20%(3 Step Call System 10%, PowerWords10%)を総合的に判断します。		

受講要件（履修条件）/Requirements	教科書、英語辞典（電子辞書も可）を毎回持参、また毎回授業に出席すること（時間厳守）。各自テキスト付属のオンラインワークブック、CD-ROM等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。
学生へのメッセージ/Message for students	英語が話せると世界（チャンス）が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第 1回 4月6日 オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第2回	第 2回 4月13日 テキストOnline Workbookの初期設定、Education Warm up
第3回	第 3回 4月20日 Education
第4回	第 4回 4月27日 Readers' theater e-learning復習他 (5/1 2年生Power Words 1回目締め切り)
第5回	第 5回 5月11日 3 Step 小テストEducation
第6回	第 6回 5月18日 Education
第7回	第 7回 5月25日 Personal Stories Warm up (5/29 2年生Power Words 2回目締め切り)
第8回	第 8回 6月1日 Readers' theater
第9回	第 9回 6月8日 Personal Stories
第10回	第10回 6月15日 Personal Stories e-learning復習他
第11回	第11回 6月22日 3 Step 小テストOrganizing time Warm up
第12回	第12回 6月29日 Organizing time
第13回	第13回 7月6日 G-TELP (7/10 2年生Power Words 3回目締め切り)
第14回	第14回 7月13日 Organizing time or Readers' theater
第15回	第15回 7月27日 Review
第16回	第16回 8月3日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013027	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英6))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟42		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T英6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 月・金 昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業到達目標/Goal	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。また、先に来る情報収集の際に必要な論文の読み方もしっかりとした目標にすえていきます。		
授業方法(学習指導法)/Method	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業内容/Class outline/Con	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanningや意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。Listeningにおいては、大学が提供している3stepやPowerWordsを日常の取り組みとします。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、読解力、先生離れへの助長		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Class Attendance and Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯の操作等はマイナス態度) G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%		
受講要件(履修条件)/Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。無断欠席回数が1/3以上でClass Attendance and Participationを0%と致します。		
学生へのメッセージ/Message for students	G-TELPテストに関する詳細は、担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9/28 第1回 Introduction		
第2回	10/5 第2回 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)		
第3回	10/19 第3回 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)		
第4回	10/26 第4回 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1) ~ 10/30 PowerWords 1回目締切り		
第5回	11/2 第5回 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)		
第6回	11/9 第6回 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 3step 小テスト		

第7回	11/16 第7回 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) ~ 11/20 PowerWords 2回目締切り
第8回	11/30 第8回 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)
第9回	12/7 第9回 Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)
第10回	12/14 第10回 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1) 3step 小テスト
第11回	12/21 第11回 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)
第12回	1/4 第12回 G-TELP ~ 1/14 PowerWords 3回目締切り
第13回	1/18 第13回 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3)
第14回	1/25 第14回 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Steam Factory Nagasaki 1856
第15回	2/1 第15回 Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Growth 1861-1865
第16回	2/8 第16回 Final Examination

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013028	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英7))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	香川 実成		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	香川 実成		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	香川 実成		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T(英7)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	midvinter.jk@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	09043429702		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日12:00 ~ 12:30、及びEメールにて (midvinter.jk@gmail.com)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ボトムアップとトップダウンの両方のアプローチによって、英文情報を緻密に、及び効率的に理解できるようになることを目指します。		
授業到達目標/Goal	基本的なアカデミック・ボキャブラリーの習得と、英語の文法・構造の理解、基本的なリーディング・ストラテジーの習得、TOEIC Parts 3&4等、設問先読みによるリスニング・スコアの向上、以上の3つを目標とします。		
授業方法 (学習指導法) /Method	毎回の予習と復習の確認作業 (小テストを含む) を通して、演習形式でおこないます。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	TOEIC		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Andrew E. Bennett, Reading Pass 2, Second Edition (2014, Nan'un-Do)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP : 20% E-Learning : 20% 定期試験 : 30% 予習/復習確認小テスト : 30%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	原則として全回出席し、すべての小テストを提出することを単位認定の要件とする。		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Sept. 28 授業の進め方と課題の内容 【サンプル】Unit 4: Italy's Fashion Kings		
第2回	Oct. 5 Unit 1: Millennials		
第3回	Oct. 19 Unit 2: Green Profits		
第4回	Oct. 26 Unit 6: TED Talks		
第5回	Nov. 2 Unit 8: Replanting the World's Forests		
第6回	Nov. 9 Unit 11: Giving Away Billions * 3step小テスト1回目		
第7回	Nov. 16 Unit 13: New York City		
第8回	Nov. 30 Unit 14: Fresh Water: A Growing Crisis		

第9回	Dec. 7 Unit 15: Exporting Culture
第10回	Dec. 14 Unit 16: Aging Populations * 3step小テスト2回目
第11回	Dec. 21 Unit 17: The Power of YouTube
第12回	Jan. 4 G-TELP試験
第13回	Jan. 18 Unit 18: Southeby's
第14回	Jan. 25 Unit 19: Yoga
第15回	Feb. 1 Unit 20: Crime-Fighting Scientists
第16回	Feb. 8 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013029	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英8))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 真弓		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 真弓		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 真弓		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学部(2T)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日の授業の前後、それ以外はメールで連絡してください		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、英語の4技能を向上させることを目的としており、日本の最新技術や企業の取組に関する記事を読んだり、そのテーマに関する英語会話を聞いたりしながら、情報を取る練習をする。		
授業到達目標/Goal	科学技術に関わる英語に触れ、その内容を読み取り、英語で話される内容を聞き取れるようになることを目標とする。日本の優れた技術に関して、それを発信できるように毎回小プレゼンを行う		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回予習をして授業にのぞむことが求められる。授業内では、内容把握に関して英語で質疑応答がなされる。また、読み物や会話の内容の要約を英語でするので、間違いを恐れず積極的に参加すること。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Mukuhira, A 他 『Japan's Skyline』(金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間・定期試験 60%、G-TELP 20%、課外学習e-learning 20% (3 step 10%, Power Words 10%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方に関して説明 Unit 1 Design First!		
第2回	Unit 2 Meeting Athletes' Needs		
第3回	Unit 3 Seven Years in the Making		
第4回	Unit 4 MEISter to the Rescue		
第5回	Unit 5 Space Station Science		
第6回	Unit 6 Driving Control & Safety 3 step 小テスト		
第7回	Unit 7 Renewing Plastics		
第8回	中間テスト Unit 8 Directing the Blind		
第9回	Unit 9 Music and Architecture in Harmony		
第10回	Unit 10 Painless Injections 3 step 小テスト		
第11回	Unit 11 Tsunami Defense		
第12回	G-TELP		
第13回	Unit 12 Improving Business Performance		
第14回	Unit 13 An Efficient Refrigerant		
第15回	Unit 14 Atmospheric Observation		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013030	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英9))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T(英9)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 10時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界中から発信された、最新の環境などに関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界情勢に対する関心をさらに高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、書く・話すための英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。		
授業到達目標/Goal	世界の出来事や環境問題に対して関心を持ち、考えを深めることができる。書いたり話すための表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養い、さらに向上させる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基礎を養成し、確かなものにする。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、リーディング本来の活動(スキミング、スキミング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキミングにより、内容の把握と理解をする。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所がないように書き込んでいく。)また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は英字新聞から選ばれていて、内容も興味深く、また、フレーズ・リーディングを行うことで、たいへん特色がある教科書を使用します。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行うようにしましょう。自ら学習することが非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
キーワード/Key word	リーディング・リスニング・英字新聞・世界情勢・環境・健康・TOEIC・英作文・英文法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Messages to the Future (小笠原真司: 南雲堂) / 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	このクラスの成績評価は下記のとおりです。定期試験の成績を60%、共通テスト(G-TELPテスト)の結果を20%、e-learningを20%(3 Step 小テスト2回分を10%、Power Wordsの達成度を10%)の割合に、予習や授業中の発表や活動を考慮して、成績とします。また、受講中の態度や活動を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席することを期待します。毎回必ず予習をしてCDを聴いてから臨みましょう。発声を伴う学習の際は、積極的に参加してください。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意をつかんでおきます。目標を定めて、たゆまぬ努力をしましょう。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月28日 導入・授業内容の説明		
第2回	10月5日 Unit 1		

第3回	10月19日	Unit 2	
第4回	10月26日	Unit 3	
第5回	11月 2日	Unit 4	
第6回	11月 9日	Unit 5	3 Step 小テスト 第1回目
第7回	11月16日	Unit 6	
第8回	11月30日	Unit 7	
第9回	12月 7日	Unit 8	
第10回	12月14日	Unit 9	3 Step 小テスト 第2回目
第11回	12月21日	Unit 14	Unitの順番に変更がありますので、注意しましょう。
第12回	1月 4日	G-TELPポスト・テスト	まとめ
第13回	1月18日	Unit 10	Unitの順番に変更がありますので、注意しましょう。
第14回	1月25日	Unit 11	
第15回	2月 1日	Unit 13	
第16回	2月 8日	定期試験	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013031	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英10))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ローン 悦子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	ローン 悦子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	ローン 悦子		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T英10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業では、これまでに修得した英語の読む、書く、聞く、話す、の4技能の力を総合的に伸ばし、実践的な運用能力をさらに高めることを目標とします。特に、日本人学習者が苦手とするアウトプットの能力の向上を目指します。		
授業到達目標/Goal	<p>(1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できる。</p> <p>(2) 与えられた写真(あるいは絵)を視覚的に英語で表現することができる。</p> <p>(3) やや簡易な会話を聞いて要約できる。</p> <p>(4) その会話の和訳を英訳できる。</p> <p>(5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができる。</p> <p>(6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容をある程度理解することができる。</p> <p>(7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習し、ネイティブにより近い発音で音読できる。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、毎レッスンLACSを使って小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthenticな教材(配布物)、洋画を使用し(DVD視聴)、Readers' theater(朗読劇)などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつながり、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めていきます。</p> <p>(1) LACSによる小テスト</p> <p>(2) テキストを使用した演習(あるいはReaders' theater活動 録音 評価、あるいは、配布物による学習)</p> <p>(3) 3分間(フリーorトピック)トーク 録音 評価</p> <p>(4) 洋画視聴(5分程度)</p> <p>提出されたグループワーク、Readers' theaterの録音は、添削評価して返却します。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>業は、演習形式で行います(テキストは全6課からなっていますが、授業の進み具合で進度、内容設定を調節しながら進めていきます)。特に日本人が苦手とするアウトプットの能力に力を入れるために、受講生にはできる限り回答の機会を設け、ペアワーク、グループワークを通して「使える」表現の定着を図ります。スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、Readers' theaterなどの活動を通し、イントネーション、単語のつながり(リンキング)母音の長音化などに焦点をあてて練習していきます。テキスト付属のオンラインワークブック、Self-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価20%)。</p>		
キーワード/Key word	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 2 Student's Book B with Online Workbook』 Cambridge University Press - ISBN:9781107649750 を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験20%、G-TELP20%、授業中の発表及び積極的な姿勢、小テスト、グループワーク、Readers' theater 40%、課外学習のe-learning 20%(3 Step Call System 10%, PowerWords10%)を総合的に判断します。		

受講要件（履修条件）/Requirements	教科書、英語辞典（電子辞書も可）を毎回持参、また毎回授業に出席すること（時間厳守）。各自テキスト付属のオンラインワークブック、CD-ROM等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。
学生へのメッセージ/Message for students	英語が話せると世界（チャンス）が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第 1回 9月28日 オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第2回	第 2回 10月5日 テキストOnline Workbookの初期設定、shopping Warm up
第3回	第 3回 10月19日 Shopping
第4回	第 4回 10月26日 Readers' theater (10/30 2年生Power Words 1回目締め切り)
第5回	第 5回 11月2日 Shopping e-learning復習他
第6回	第 6回 11月9日 3 Step 小テストFun in the city Warm up
第7回	第 7回 11月16日 Fun in the city (11/20 2年生Power Words 2回目締め切り)
第8回	第 8回 11月30日 Fun in the city
第9回	第 9回 12月7日 Readers' theater e-learning復習他
第10回	第10回 12月14日 3 Step 小テストIn a restaurant Warm up
第11回	第11回 12月22日 In a restaurant G/W
第12回	第12回 1月4日 G-TELP (1/14 2年生Power Words 3回目締め切り)
第13回	第13回 1月18日 In a restaurant
第14回	第14回 1月25日 Readers' theater Review
第15回	第15回 2月1日 Review
第16回	第16回 2月8日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013032	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2D1・2D2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	香川 実成		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	香川 実成		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	香川 実成		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	2D1・2D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	midvinter.jk@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	09043429702		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日12:00~12:30、及びEメールにて(midvinter.jk@gmail.com)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ボトムアップとトップダウンの両方のアプローチによって、英文情報を緻密に、及び効率的に理解できるようになることを目指します。		
授業到達目標/Goal	基本的なアカデミック・ボキャブラリーを文脈に応じて自由に使えるようにする、 基本的なリーディング・ストラテジーを習得する、 英文パッセージの内容について、フローチャートや表を頭の中にイメージする、あるいは実際に書くことによって、情報を整理しながら理解できるようになる、 以上の3つを目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回の予習と復習の確認作業(小テストを含む)を通して、演習形式でおこないます。また、毎回、歯科医院や病院での会話表現のクイズを実施します。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	アカデミック・ボキャブラリー 図・表による情報整理 医療会話		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading Choice Skills for Academic Success (『現代のトピックを読むためのリーディングスキル』)(2013年、センゲージラーニング)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP: 20% E-Learning: 20% 定期試験: 20% 予習/復習確認小テスト: 40%		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席し、すべての小テストを提出することを単位認定の要件とする。		
備考(URL)/Remarks(URL)	http://cengage.jp/elt/Reading/		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Sept. 28 授業の進め方と課題の内容 Chapter 1 Cultural Difference: Being on Time		
第2回	Oct. 5 Chapter 2 Changing Lifestyles and New Eating Habits		
第3回	Oct. 19 Chapter 3 Technology Competes for Family Time		
第4回	Oct. 26 Chapter 4 Language: Is It Always Spoken?		
第5回	Nov. 2 Chapter 5 Loneliness: How Can We Overcome It?		
第6回	Nov. 9 Chapter 6 The Importance Grandmothers * 3step小テスト1回目		
第7回	Nov. 16 Chapters 1-6: Extra Reading Activities		
第8回	Nov. 30 Chapter 7 The Reliability of Eyewitnesses		

第9回	Dec. 7 Chapter 8 Innocent until Proven Guilty: The Criminal Court System
第10回	Dec. 14 Chapter 9 Solving Crimes with Modern Technology * 3step小テスト2回目
第11回	Dec. 21 Chapter 10 Ancient Artifacts and Ancient Air
第12回	Jan. 4 G-TELP試験
第13回	Jan. 18 Chapter 11 Medical Technology: Saving Lives with Robotics
第14回	Jan. 25 Chapter 12 Mars Our Neighbor in Space
第15回	Feb. 1 Chapters 7-12: Extra Reading Activities
第16回	Feb. 8 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013033	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2F(英1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟44		
対象学生(クラス等) / Object Student	2 F 1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜1限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は、この授業は、英語の表現形式に親しみ、使い、練習しながら、主にリーディングおよびライティングのコミュニケーション能力を習得することに重点を置きます。		
授業到達目標/Goal	コミュニケーション能力を習得するために、英語の論理で成り立った、基礎的な情報伝達パターンの理解を深め、相手の意見を把握し、自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション技能を習得し、英語学習への関心と自信をもつことを目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	教科書の短い練習問題からはじめ、授業の進度に応じて、産に関する文章の具体例の検討を通して、グループワークや発表を行います。また、必要に応じて文法や語句の説明を行います。		
授業内容/Class outline/Con	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観し、英語の表現形式を確認しながら授業を進めます。 授業の進度に応じて、授業計画が変更になることもあります。		
キーワード/Key word	コミュニケーション能力、クリティカルシンキング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Critical Thinking Language Skills for Clear Communication 朝日出版社 1700円 およびハンドアウトを適宜配布。 英語の辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G - T E L P (2 0 %) E - L e a r n i n g (2 0 %)、授業活動・課題への積極的参加 (2 0 %)、期末試験 (4 0 %)		
受講要件(履修条件)/Requirements	基本的に授業には毎回遅れないように出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で1回の欠席とカウントしますので注意してください。最初の授業は、この授業の計画を説明するので必ず出席してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	introduction		
第2回	unit1		
第3回	unit1		
第4回	unit2		
第5回	unit2		
第6回	unit3 3 S t e p 小テスト		
第7回	unit3		
第8回	unit4		
第9回	unit4		
第10回	unit5		
第11回	unit5		
第12回	unit6 3 S t e p 小テスト		
第13回	G-TELP試験		

第14回	unit6
第15回	review
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013034	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2F(英2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	2F英2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 月・金 昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業到達目標/Goal	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。また、先に来る情報収集の際に必要な論文の読み方もしっかりとした目標にすえていきます。		
授業方法(学習指導法)/Method	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業内容/Class outline/Con	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanningや意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。Listeningにおいては、大学が提供している3stepやPowerWordsを日常の取り組みとします。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、読解力、先生離れへの助長		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Class Attendance and Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯の操作等はマイナス態度) G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%		
受講要件(履修条件)/Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。無断欠席回数が1/3以上でClass Attendance and Participationを0%と致します。		
学生へのメッセージ/Message for students	G-TELPテストに関する詳細は、担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4/10 第1回 Introduction		
第2回	4/17 第2回 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)		
第3回	4/24 第3回 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)		
第4回	5/1 第4回 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)		
第5回	5/8 第5回 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan		
第6回	5/15 第6回 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 3step 小テスト		
第7回	5/22 第7回 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)		

第8回	5/29 第8回 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) ~5/29 PowerWords 2回目締切り
第9回	6/5 第9回 Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)
第10回	6/12 第10回 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)
第11回	6/19 第11回 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)
第12回	6/26 第12回 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3) 3step 小テスト
第13回	7/3 第13回 G-TELP
第14回	7/10 第14回 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Steam Factory Nagasaki 1856 ~7/10 PowerWords 3回目締切り
第15回	7/17 第15回 Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Growth 1861-1865
第16回	7/24 第16回 Final Examination

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013035	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2F(英3))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	石松 惇		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	石松 惇		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	石松 惇		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2F(英1))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-ishima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環東シナ海環境資源研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-850-7312		
担当教員オフィスアワー/Office hours	E-mailにより受け付けます		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	総合英語IIIは、3クラスを習熟度別に分けて実施されます。このクラスは、その中で科学英語を正確に読める英語力を身につけることを目的で開講します。		
授業到達目標/Goal	卒業研究を行う際に必要な、科学論文を正確に読める能力が身につくことが目標です。そのためには、文法事項の理解、文章構造的な確かな把握が必要です。基礎から始めて、上記の能力を学生諸君が持てるようになるように学習しましょう。TOEICとの関係では正確・迅速な読解力を身につけることによってリーディング問題への対応力が身につきます。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。使用する教科書の決められた範囲を必ず予習してきてください。		
授業内容/Class outline/Con	水産学部総合英語IIIは、1年次後期総合英語IIと同様に習熟度別クラスにて実施します。クラス分けは、1年次の成績をもとに事前に発表しますので、掲示をよくみておいてください。(後期英語コミュニケーションIIIは、従来どおりのクラスです)。		
キーワード/Key word	科学英語、精読、英文法基礎		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「総合英語Forest」著者 石黒昭博 出版社 桐原書店		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	13回目の講義においてG-TELPを行います。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。成績評価の方法については、以下の通りです。定期試験60%、G-TELPテスト 20%、課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%)。		
受講要件(履修条件)/Requirements	水産学部2年生の総合英語IIIは、3クラスを習熟度別に分けて実施されます。自分が受講するクラスを、全学教育事務室の掲示等で確認してください。		
学生へのメッセージ/Message for students	講義には辞書(紙版でも電子辞書でもよい)を必ず持参すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 第1章 文の種類 第2章 動詞と文型		
第2回	第3章 動詞と時制 第4章 完了形		
第3回	第5章 助動詞 第6章 態		
第4回	第7章 不定詞 第8章 動名詞 Power Words1回目締切り		
第5回	第9章 分詞 第10章 比較		
第6回	3step小テスト1回目		
第7回	第11章 関係詞 第12章 仮定法		

第8回	第13章 疑問詞と疑問文 第14章 否定 Power Words2回目締切り
第9回	第15章 話法 第16章 名詞構文・無生物主語
第10回	第17章 強調・倒置・挿入・省略・同格 第18章 名詞
第11回	第19章 冠詞 第20章 代名詞
第12回	3step小テスト2回目
第13回	G-TELP
第14回	第21章 形容詞 第22章 副詞 Power Words3回目締切り
第15回	第23章 前置詞 第24章 接続詞
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/14		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013036	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2P1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 敦子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 敦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 敦子		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	2P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界情勢や文化、身近な問題まで幅広い内容を伝える海外のニュース番組を題材に、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能をバランスよく伸ばす。また国際的な社会問題に触れることにより、視野の拡大に繋げる。		
授業到達目標/Goal	ニュース英語のリズムや速度に慣れ、リスニング力を向上させる。文法的に重要な構文、社会問題の観点から重要なキーワードを確認しながら、ニュースの内容を大まかに把握することができるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	イギリスの代表的なニュース番組であるBBCニュースのビデオ教材を視聴しながらリスニング練習と和訳や演習問題による内容把握を行う。文法の上で重要な英語構文は重点的に説明する。最後にニュースの要旨を作成する。付属のDVDでの予習を前提とする。		
授業内容/Class outline/Con	テキストの各ユニットの中から学生にとって興味深い内容を持つニュースを扱う。毎回テキスト付属のDVDでニュースクリップを視聴し、リスニング問題の予習をしておく。授業でニュースクリップを視聴しながらリスニング問題の解答を確認する。ニュースの本文を完成させ、文法事項や表現、単語を確認しながら、内容把握を行う。次にニュースに使われた重要な単語と5W1Hに関する問題演習を行うことで細部の理解を目指す。最後はニュースの要約文を完成させる。		
キーワード/Key word	ニュース英語、リスニング、リーディング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Seeing the World through the News 2 (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的な取り組み状況(発表) 10% 定期試験 50%、 G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回リスニング、和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
学生へのメッセージ/Message for students	BBCのニュースの中に、英語圏の文化や現代意識を読み取りながら、生きた英語を学んでいきましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション Pie and Mash Shop Given Special Status: リスニング演習と内容把握		
第2回	Pie and Mash Shop Given Special Status: 総合問題演習と要約文の完成		
第3回	Festival for Geeks: リスニング演習と内容把握		
第4回	Festival for Geeks: 総合問題演習と要約文の完成		
第5回	Renovation of King's Cross Station: リスニング演習と内容把握		
第6回	Renovation of King's Cross Station: 総合問題演習と要約文の完成		

第7回	3step小テスト Horse Therapy: リスニング演習と内容把握
第8回	Horse Therapy: 総合問題演習と要約文の完成
第9回	The Red Cross to Aid Food Poverty: リスニング演習と内容把握
第10回	The Red Cross to Aid Food Poverty: 総合問題演習と要約文の完成
第11回	Hope for the Blind: リスニング演習と内容把握
第12回	3step小テスト Hope for the Blind: 総合問題演習と要約文の完成
第13回	Being British: リスニング演習と内容把握
第14回	G-TELPテスト
第15回	Being British: 総合問題演習と要約文の完成
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013037	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2P2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[総合]総合教育研究棟1F109講義室		
対象学生(クラス等) / Object Student	2P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日10時~10時25分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、医療従事者として知っておくべきトピックについて書かれたテキストを読み、リーディング力、また、語彙力の養成を行います。また、様々なリスニング形式で聞く訓練も行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意が掴めるようにします。語彙レベルではテキストで指定されたKey Words 100語を確実に習得します。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。リスニングは、日常会話、患者-医療従事者の会話、解説文など、多岐にわたる英語に触れ、聞き取る訓練を行います。また、リーディングでは、大意を取る練習をしながら速読の訓練を行います。		
授業内容/Class outline/Con	まず、トピックに関する重要単語の確認をします。 つづいて、速読による英文解釈の確認、精読による再確認をします。 最後に、様々な形式のリスニングを行い、聞く力をつけます。		
キーワード/Key word	Health		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Health Matters Health Awareness for College Students (金星堂) ¥2,000+税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP20%、e-learning20%、授業中の発表を含む定期試験60%		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は個別指導を行う。		
学生へのメッセージ/Message for students	ニュース等を英語字幕、または英語音声で聴くことが4技能向上の一助になります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction 教科書販売 速読について		
第2回	Why English? The Basis for Academic Inquiry		
第3回	Sleep Sweet Dreams		
第4回	Allergies Got an Itch to Scratch?		
第5回	Stress Management Don't Let it Get to You!		
第6回	Skin Beauty is Only Skin Deep		
第7回	3 Step小テスト1回目 Sports Injuries RICE is Nice		
第8回	Personality You Need to Chill Out!		
第9回	Nutrition Nutritious is Delicious		
第10回	Aromatherapy What's that Smell?		
第11回	Aging Forever Young		
第12回	3 Step小テスト2回目 Acupuncture On Pins and Needles		
第13回	Three Major Causes of Death Are You Insured?		

第14回	G-TELP
第15回	Health
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013038	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (2G1 ~ 2G3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2G2 再履修生の受講不可		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	授業外ではインプットを重視したリスニングを行い、授業中にはアウトプットを重視した活動を取り入れる。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でプレゼンテーションを行い、相手に正確な情報を伝えられるようになること。 ・英語のプレゼンテーションで必要となる表現を身につけること。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>反転授業を取り入れた授業を行う。</p> <p>授業で扱う内容は授業前に学習し、内容理解をしておく。授業中は、その内容を発展させた活動を取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら英語の運用能力の養成を図ります。</p>		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	3-Step CALL System (e-learning)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト: 15% ・期末試験: 15% ・提出物、グループワークの成果物: 30% (自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等) ・G-TELP: 20% ・e-learning: 20% (PowerWords 10%: 単語の教材のレベルを1上げること 3-Step CALL System 10%: 2回のUNITテスト) 		
受講要件(履修条件)/Requirements	再履修生は受講できません。		
学生へのメッセージ/Message for students	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう!!		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 教材の説明、成績についての説明 グループ作り アンケートの実施		
第2回	英語の学習方法について考える プリント教材		
第3回	「モノ」について考える プリント教材		
第4回	「モノ」について考える プリント教材		
第5回	「モノ」について考える プリント教材		
第6回	3-STEP小テスト1回目 発表準備		
第7回	発表		
第8回	発表の振り返りと他グループの評価		

第9回	学生生活について考える プリント教材
第10回	学生生活について考える プリント教材
第11回	学生生活について考える プリント教材
第12回	3-STEP小テスト2回目 発表準備
第13回	G-TELP
第14回	発表
第15回	発表の振り返りと他グループの評価 まとめ
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013039	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語上級者クラス(総合英語)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	TOEICスコア650点以上の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	B棟1F		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に英文の大意を素早く捉え、日本語でまとめる訓練を行い、かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回、プリント教材を用いてreading技能、とりわけ大意把握や要約に特化した、訓練を行う。また、日本語及び英語での要約を課し、添削指導を行いながら論理的な文を書けるようになる基礎固めを行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	reading strategies, academic writing		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 課題の提出状況及び授業への取り組み(60%) * 真撃にこのクラスに組み入れれば、成績評価はAAとなります。		
学生へのメッセージ/Message for students	英語上級者クラスでは、定期試験を行いませんが、通常クラスと同じようにeラーニング教材を課しながらも、大意要約を行うリーディング力を培うと同時に、学術的英文を書けるよう添削指導を行います。 この上級者クラスは、少人数形式で行うこともあり、学生のレベルにあった方法や教材を提供できること。それに添削指導等の細やかな指導を行います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, e-learning教材の説明, sample reading		
第2回	プリント教材(1)		
第3回	プリント教材(2)		
第4回	プリント教材(3)		
第5回	プリント教材(4)		
第6回	3Step小テスト(1)(約30分程度), プリント教材(5)		
第7回	プリント教材(6)		
第8回	プリント教材(7)		
第9回	プリント教材(8)		
第10回	プリント教材(9)		
第11回	プリント教材(10)		
第12回	3Step小テスト(2), プリント教材(11)		
第13回	G-TELP		
第14回	プリント教材の総復習		
第15回	まとめ		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013040	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語上級者クラス(総合英語)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	隈上 麻衣		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	隈上 麻衣		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	隈上 麻衣		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育, 経済, 薬, 水産		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mkumagami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	言語教育研究センター(環境科学部1階)114		
担当教員TEL / Tel	095-819-2172		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜3限(メールでも受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	論理的に英文の大意を素早く捉え, 日本語でまとめる訓練を行い, かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標 / Goal	まとまった英文の大意をつかみながら, 日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	毎回, プリント教材を用いてreading技能, とりわけ大意把握や要約に特化した, 訓練を行う。また, 日本語及び英語での要約を課し, 添削指導を行いながら論理的な文を書けるようになる基礎固めを行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	reading strategies, academic writing		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教材は授業時に指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 課題の提出状況及び授業への取り組み(60%) *真撃にこのクラスに取り組みれば, 成績評価はAAとなります。		
学生へのメッセージ / Message for students	英語上級者クラスでは, 定期試験を行いませんが, 通常クラスと同じようにeラーニング教材を課しながらも, 大意要約を行うリーディング力を培うと同時に, 学術的英文を書けるよう添削指導を行います。 この上級者クラスは, 少人数形式で行うこともあり, 学生のレベルにあった方法や教材を提供できること。それに添削指導等の細やかな指導を行います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation, Self-Introduction		
第2回	プリント教材(1)		
第3回	プリント教材(2)		
第4回	プリント教材(3)		
第5回	プリント教材(4)		
第6回	3Step 第1回小テスト, プリント教材(5)		
第7回	プリント教材(6)		
第8回	プリント教材(7)		
第9回	プリント教材(8)		
第10回	プリント教材(9)		
第11回	プリント教材(10)		
第12回	3Step 第2回小テスト, プリント教材(11)		
第13回	G-TELP		
第14回	プリント教材(12)		
第15回	まとめ		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013041	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語上級者クラス(総合英語)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	医, 保健, 歯, 工, 環境		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部東棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	論理的に英文の大意を素早く捉え、日本語でまとめる訓練を行い、かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標 / Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	毎回、プリント教材を用いてreading技能、とりわけ大意把握や要約に特化した、訓練を行う。また、日本語及び英語での要約を課し、添削指導を行いながら論理的な文を書けるようになる基礎固めを行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	reading strategies, academic writing		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 課題の提出状況及び授業への取り組み(60%) *真撃にこのクラスに取り組み、成績評価はAAとなります。		
学生へのメッセージ / Message for students	英語上級者クラスでは、定期試験を行いませんが、通常クラスと同じようにeラーニング教材を課しながらも、大意要約を行うリーディング力を培うと同時に、学術的英文を書けるよう添削指導を行います。 この上級者クラスは、少人数形式で行うこともあり、学生のレベルにあった方法や教材を提供できること。それに添削指導等の細やかな指導を行います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, e-learning教材の説明, sample reading		
第2回	プリント教材(1)		
第3回	プリント教材(2)		
第4回	プリント教材(3)		
第5回	プリント教材(4)		
第6回	3Step小テスト(1)(約30分程度), プリント教材(5)		
第7回	プリント教材(6)		
第8回	プリント教材(7)		
第9回	プリント教材(8)		
第10回	プリント教材(9)		
第11回	プリント教材(10)		
第12回	3Step小テスト(2), プリント教材(11)		
第13回	G-TELP		
第14回	プリント教材の総復習		
第15回	まとめ		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013042	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語上級者クラス(総合英語)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育、経済、薬学、水産		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月3 火4 木3		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	論理的に英文の大意を素早く捉え、日本語でまとめる訓練を行い、かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標 / Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	毎回、プリント教材を用いてreading技能、とりわけ大意把握や要約に特化した、訓練を行う。また、日本語及び英語での要約を課し、添削指導を行いながら論理的な文を書けるようになる基礎固めを行う。		
授業内容 / Class outline / Con	授業は、プリントを用いて、基礎的な読みやすい論文に挑戦します。また、テキストを用いて、グローバルなビジネスの場면을学習しながら、リスニングやスピーキング力を要請します。		
キーワード / Key word	'reading strategies, academic writing		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): グローバル時代の英語(NHK出版) 1,600円 教材: プリント教材 必要に応じて毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 課題の提出状況及び授業への取り組み(60%) * 真摯にこのクラスに取り組み、成績評価はAAとなります。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
学生へのメッセージ / Message for students	英語上級者クラスでは、定期試験を行いませんが、通常クラスと同じようにeラーニング教材を課しながらも、大意要約を行うリーディング力を培うと同時に、学術的英文を書けるよう添削指導を行います。 この上級者クラスは、少人数形式で行うこともあり、学生のレベルにあった方法や教材を提供できること。それに添削指導等の細やかな指導を行います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション Introduction, e-learning教材の説明, sample reading e-learning 3 STEP Power Words		
第2回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 1 3 STEP パワーワーズ		
第3回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 1 3 STEP パワーワーズ		

第4回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 2 3 STEP パワーワーズ
第5回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 2 3 STEP パワーワーズ
第6回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 3 3 STEP パワーワーズ
第7回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 3 3Step小テスト(1) (約30分程度)
第8回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 4 3 STEP パワーワーズ
第9回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 4 3 STEP パワーワーズ
第10回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 5 3 STEP パワーワーズ
第11回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 5 3 STEP パワーワーズ
第12回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 6 3Step小テスト(2) (約30分程度)
第13回	G - T E L P
第14回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 6 3 STEP パワーワーズ
第15回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 7 3 STEP パワーワーズ
第16回	定期試験